

## 令和元年度第1回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

### 1 日時及び会場

- 令和元年7月23日(火) 14:10～16:00
- 広島港湾振興事務所大会議室(広島市南区宇品海岸二丁目)

### 2 出席者

- 委員17名出席

### 3 議事要旨

#### (1) 協議会の進行

- 平成30年度第4回協議会の議事概要の確認
- 廃棄物の受入実績等について
- 処分場の維持管理状況等について
- 周辺環境の調査結果について
- 災害廃棄物受入台船の運用計画等について
- 出島処分場護岸改良工事について
- 地域振興策について

#### (2) 発言要旨

##### 【平成30年度第4回協議会の議事概要の確認】

(意見なし)

##### 【廃棄物の受入実績等について】

- ・ 廃棄物受入量で一般廃棄物には「うち災害廃棄物」と書いてあるが、残りの一般廃棄物はどういったものか。  
→ 市町から排出される焼却灰、ばいじん、またはガラスくず、陶磁器くずやがれきといった不燃物である。
- ・ 一般廃棄物は、例年に比べて今年は搬入量が少し多いということか。  
→ 一般廃棄物のうち、特に災害廃棄物が多く搬入されており、全体受入量の約半分が一般廃棄物で、その9割近くが災害廃棄物である。
- ・ 災害廃棄物が入ったので、多く入っている感じはするが、災害廃棄物の受入が無くなった時点で入らなくなるのではないか。  
→ 災害廃棄物については、市町の処理によるところであるが、県の計画では今年12月には処理が終わることとなっている。産業廃棄物の排出事業者については、毎年度契約を結んでおり、その都度必要になれば更新契約を結ぶので、これから数は増えていく。
- ・ 災害廃棄物の受入で一見受入量が増えているように見えるが、これは一時的なものである。廃棄物を確保する活動を色々考えているということだが、その結果がまだ表れていないということではないか。  
→ 平成29年度、平成30年度と比較して、今年度の災害廃棄物を除いた受入量は増えてはいる。

- ・ 恵下処分場に持って行くものを出島処分場に持って行くという話があったが、話は進んでいないのか。
  - 恵下処分場の建設が遅れているので、その間の焼却灰については、出島処分場の利用を考えている。
  - 来年4月から、広島市の焼却灰を受入するという事で話を進めており、先日現物も見させてもらったところである。また、大口の顧客の話も具体的に来ているので、公社としては、きちんと受入できるよう考えている。
- ・ 先日、宇品鷹野橋線でダンプが事故を起こした。ダンプがどこに行く目的で通ったのかは不明だが、ダンプの事故は非常に恐ろしいので、二度と事故を起こさないよう、スピードなど気をつけさせてもらいたい。
  - 安全確認は基本なので、事実確認し、指導を徹底する。

#### 【処分場の維持管理状況等について】

- ・ 場内水位は、降水量でどれくらい影響するのか。たくさん降ったら、どこかに出すようになっているのか。
  - 水位がある程度上昇したら、余水を処理して下水道へ放流することとなっている。ただし、処分場の面積が相当に広いので、雨が降っても大きく上昇せず、また、天気が続くと蒸発により水位が下がる。そのため、年間の場内水位は2mから3mで推移している。
- ・ 水位をモニタリングしているが、水位の高低で何か影響が出てくるのか。
  - 水位が上昇すると、処分場のシートが引いてある領域よりも高くなってしまうため、そうならないよう、余水処理施設で水を処理して下水道に放流することとしている。

#### 【周辺環境の調査結果等について】

(意見なし)

#### 【災害廃棄物受入台船の運用計画等について】

(意見なし)

#### 【出島処分場護岸改良工事について】

- ・ 高さ4.5mの既設コンクリート施設は最初に取り壊すのか。
  - 既設上部工の取壊しは、新しい上部工の完成後に取り壊す。新しい上部工は鉄筋を入れており、単純にコンクリートを置く状態とは異なる。
- ・ 既設上部工の取壊し方法はどのように行うのか。
  - コンクリート切断用の専用カッターで水平方向と垂直方向に切断し、切断したコンクリートは船に積み込んで場外搬出する。

## 【地域振興策について】

- ・ 屋根付き広場については、平成 26 年の協議会で一旦整理されていたと思うが、今回の資料で「現在の地元の要望と必ずしも一致しない」と記載がある。どういう点が一致しないのか。  
→ 前回の協議会で、この屋根付き広場で協議を進めることに対して、色々な御意見があり、今のままでは作らない方がいいのではないかという意見が大勢だったと思われたため、このような記載とした。
- ・ 以前は、アイデア会議等で叩き台を作り、協議会で協議した。今回のように代表者協議で決定する場合、スリム化して整理しやすいと思うが、地区内の色々な意見も反映して代表者協議をしてもらいたい。また、今から再検討する訳なので、残りの期間を見ながら、スケジュール感を持って取り組んでもらいたい。
- ・ 事業によっては相手がいるので、相手の了解を得てやってもらいたいし、また、整備した施設の管理・運営をどうするかということも頭に置いて検討してもらいたい。
- ・ 施設の維持管理をするには、利益が生まれるものでないとダメだと思う。先日、旧市民球場跡地で開催されたスケボアのイベントは大変盛況であった。以前は想像もしていなかったものが、非常に注目を集めている。このような視点でも検討してもらいたい。
- ・ 平成 23 年 4 月 28 日に県と締結した追加確認書では、「廃棄物の受入開始後 10 年間で廃棄物の受入を終了する」と書いてあり、地域振興策もこの 10 年間で実施するものと考えているが、資料では、地域振興策は「埋立終了年度までに実施」と記載されており、読み方によっては、10 年が過ぎても対応するような記載となっている。色々な解釈が生まれぬよう、廃棄物の受入開始から 10 年間とより明確な記述にしてもらいたい。
- ・ 以前も言ったが、こんなにお金をかけて、こんなに立派な処分場を作ってくれといった覚えは無い。当時、単なる反対ではなく、害の無いもの、もっと小さい施設を作りたいと言わざるを得なかった。当時から 10 年で埋めるのは難しいと分かっていたことだと思うが、それでもやってきているのが行政であり、税金をつぎ込んでまで廃棄物を増やすというのも非常に不本意である。また、地域振興策の 3 億円で納得させられたと思われたくもないし、10 年で終わらせてほしいという思いもあるが、10 年が 20 年や 30 年に延びたら、地域振興策は 3 億円が 6 億円や 9 億円になるのかと言いたくなる。最初の 3 億円は、10 年間の迷惑料という意味合いだと思っていたので、20 年になったら 6 億円になるのかと言いたくなる。
- ・ 代表者による協議だが、全体の協議会で皆さんの意見を全て聞いてはまとめるのが難しくなる。まずは代表者協議で最初の取り決めをして、事後報告にはなるが、協議会で報告して決定するという形にしないと、いつまで経っても決まらないと思う。
- ・ 当初の協議会を傍聴させてもらったことがあるが、当時の思いは皆一緒に処分場を早く全部終わらせるということだった。しかし、出来上がった施設は 500 億円もかかってしまった訳であり、そうなったら新たなスタートとして、施設を活用する方向で考えていかないといけないと思う。過去を踏まえて新たに考えてもらいたい。

※ 担当事務局

広島県環境県民局産業廃棄物対策課

TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)